

2026 年 10 月 15 日

「アドテック東京 2026」の公式セッションに

ADK マーケティング・ソリューションズ 竹下 伸哉、小塚 仁篤の登壇が決定

広告・マーケティング業界を俯瞰でき、18 回目を迎える伝統ある国際カンファレンス「ad:tech tokyo (以下、アドテック東京／10 月 21～23 日 於：東京ミッドタウン&ザ・リッツ・カールトン)」に、株式会社 ADK マーケティング・ソリューションズ(本社：東京都港区、代表取締役社長：大山 俊哉) 取締役 執行役員 ソリューション統括の竹下伸哉、ならびに EX クリエイティブ本部 クリエイティブ・ディレクター／クリエイティブ・テクノロジストの小塚仁篤の登壇が決定いたしました。

登壇セッション詳細

日時：10 月 23 日(金) 13:00-13:40

タイトル：[ExhibitionStage-2-8] 顧客と社会に、新しい価値をどうつくるか ― 日本マーケティング大賞から考える

URL：https://adtech-tokyo.com/ja/program/session.html?num=ExhibitionStage-2-8_year2026

マーケティングというと、商品売ることや広告・プロモーションを思い浮かべる方が多いかもしれません。でも、その本質はもっと深く「価値創造」にあります。社会や生活者の変化に気づくこと。これまで見過ごされていた課題に目を向けること。異なる人や組織がつながることなど、価値が生まれるきっかけはさまざまところにあります。

このセッションでは、第 18 回日本マーケティング大賞の受賞事例を通してそれぞれの取り組みはどこから始まり、どのような価値を生み出し、ステークホルダーや社会へと広がっていったのかをひも解きます。AI がさまざまな業務・領域を変えていく時代に、人や組織だからこそ生み出せる価値とは何か。実践者とともに、これからのマーケティングの可能性を考えます。



日時：10 月 23 日(金) 16:45-17:35

タイトル：[DT-8] AI は人の“気持ち”をどこまで扱えるのか

URL：https://adtech-tokyo.com/ja/program/session.html?num=DT-8_year2026

欲望や葛藤など、人の“気持ち”の奥底にある本音を、AI はどこまで扱えているのでしょうか？

生成 AI の進化によって、AI データ分析や AI ペルソナなど、人の“気持ち”を AI で扱う場面が増えています。しかし、生成 AI が処理・生成している“気持ち”と、リアルな人間の本音ベースの感情の間には、まだまだギャップを感じる場面が多いようにも思えます。



建前ではない本音の欲望や矛盾の発掘、匿名コメントやレビューから見えてくる裏の顔やインサイト、実在性のわからない AI ペルソナと実在する N=1 の個人とのギャップ、人と人との顔が見える会話では語られにくい本音に迫るデータと AI の可能性、本音を起点とした AI クリエイティブや AI 体験デザインのつくり方、AI 依存による思考停止を避けてマーケティングと AI が相乗効果を生み出すためのポイントなど……

最前線で AI を活用するプロフェッショナルが、「欲望マンダラ」などのフレームワークも交えながら、さまざまな視点で「AI と”気持ち”」についてディスカッションします。

アドテック東京 2026 開催概要

ad:tech tokyo

開催日: 2026 年 10 月 21 日(水)～23 日(金)

場 所: 東京ミッドタウン & ザ・リッツ・カールトン東京 および後日アーカイブ配信

来場者: 約 1 万 6000 人(リアル、アーカイブ配信含む)

公式サイト: <http://adtech-tokyo.com/ja/>

<株式会社 ADK マーケティング・ソリューションズ 会社概要>

「ファングロースパートナー」のビジョンのもと、広告・マーケティング領域に留まらず、事業やブランドのトランスフォーメーション、データアナリティクスやテクノロジープラットフォームの整備等、様々な課題に対しての解決に向けた、最適な戦略提案からアイデア開発、実行までを統合的に支援します。クライアントの商品・サービスにおける「ファン」を起点とした顧客体験の仕組み全体を設計し、さらなるビジネス成長への貢献と、新たな価値の創造を目指します。

・ADK MS ウェブサイト <https://www.adkms.jp/>

本件に関する問合せ先

株式会社 ADK ホールディングス

経営企画本部 グループ広報局 PR・マーケティンググループ 内山 e-mail: mspr@adk.jp